

焼 津 市

豊田地域交流センター



沿革

昭和30年4月	豊田公民館設立
昭和55年3月	建替え（昭和55年3月～令和8年6月まで使用）
昭和55年11月	第1回とよだのまつり開催
昭和56年2月	市制30周年記念タイムカプセル埋設（開示は2081年）
昭和58年11月	第1回青少年健全育成大会開催
昭和59年1月	第1回耐寒ハイク開催
昭和62年10月	地域福祉推進委員会 静岡県社会福祉大会にて表彰
昭和63年9月	第37回優良公民館表彰受賞
平成元年5月	青少年健全育成連絡協議会 静岡県防犯協会より感謝状
平成15年2月	豊田歴史と文化を学ぶ会 地域文化活動努力賞受賞
平成29年5月	豊田地域まちづくり推進協議会協力のもと建替え候補地選定に向けた協議
平成30年12月	地元住民協力のもと基本構想策定のためのワークショップを開催（全5回）
令和4年2月	豊田地域交流拠点施設基本構想策定
令和6年4月	豊田公民館から豊田地域交流センターへ移行
令和6年6月	青少年健全育成連絡協議会 焼津市防犯協会より感謝状

豊田地域交流センター施設整備経緯

令和5年3月	豊田地域交流拠点施設基本計画策定
令和5年7月	豊田地域交流拠点施設基本設計策定
令和6年3月	豊田地域交流拠点施設実施設計策定
令和6年9月	豊田地域交流拠点施設建設工事 着手
令和6年10月	建設工事安全祈願祭（起工式）実施
令和8年4月	整備工事完了
令和8年6月	完成記念式典 開催
令和8年7月	供用開始

豊田地域交流センターについて

本施設は、昭和30年に設立後、昭和55年に現在の建屋に建て替えを行った。今回の整備事業は、45年以上が経過し、老朽化した豊田地域交流センターの再編として建設されたものです。

旧施設にはない交流の場（サロン）の設置や、バリアフリー化に対応するなどコミュニティ、生涯学習、防災等を中心に地域の交流をより一層進め、地域に住んでいる誰もが、心豊かな暮らしを実現していくための施設をコンセプトとしています。

施設・整備概要

■事業名／豊田地域交流拠点施設建設工事

■事業費／建設費 1,068,298,000円

■建設場所／焼津市小土961番地の1

(内訳)

■構造／鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造・木造
2階建て

建築工事 685,916,000円

電気設備工事 136,807,000円

空調設備工事 103,147,000円

■敷地面積／5,183.99㎡

給排水衛生設備工事 80,344,000円

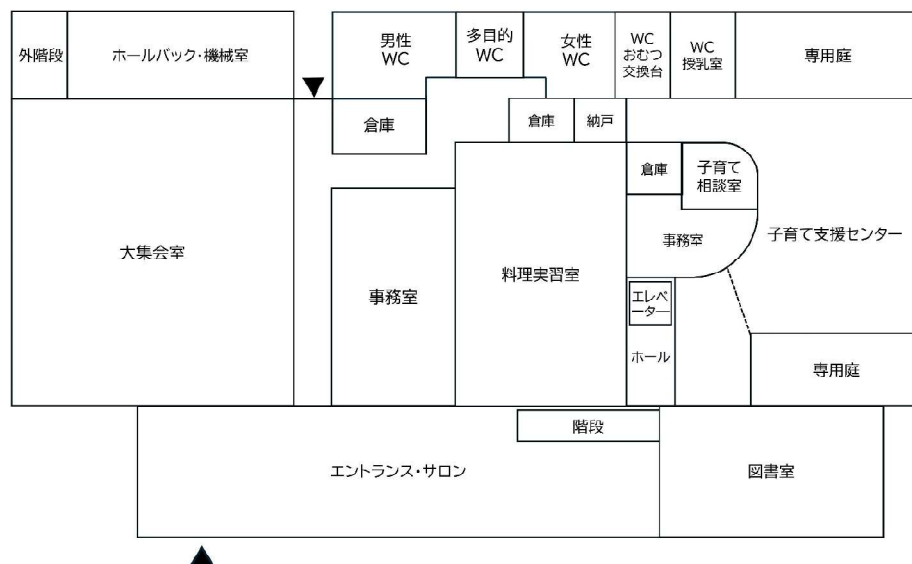
外構工事 62,084,000円

■面積概要／延床面積：1,497.59㎡

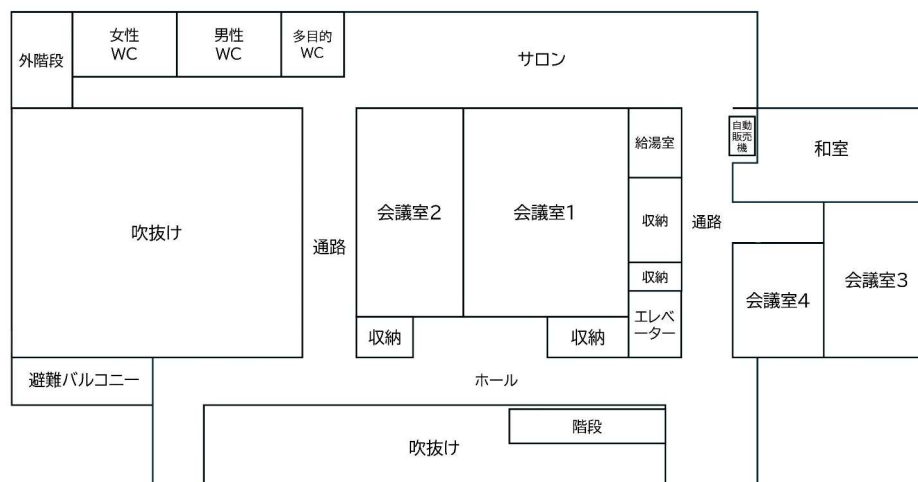
1階：963.75㎡

2階：533.84㎡

1F



2F



■大集会室



地域の方がイベントなどを企画し実施するのに適切な規模。最大170人程度が利用可能。

■1階サロン



施設の顔としてふさわしい、明るく広々とした空間。地域の方が気軽に立ち寄れる場所。

■図書室



市の図書館の分館として約6,000冊を蔵書。ぬくもり・安らぎのある国産材による本棚を設置。

■料理実習室



まちのおしゃれなクッキングスタジオをイメージした明るく開放的な空間。

■事務室



施設利用の案内と図書の貸出・返却の事務を行う。立ち寄りやすい開放的なカウンターを設置。

■読書スペース



図書室の隣に設置した読書スペース。芝生広場を見渡すことが可能。

■その他の施設・設備

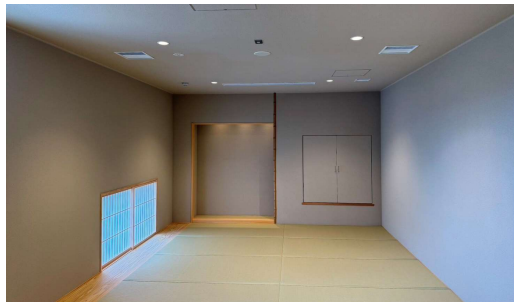
- 1F▶2F : ユニバーサルデザインを取り入れた「エレベーター」や「トイレ」を設置。
- 1F▶2F : 施設内外から利用できる避難階段を設置。
- 屋外 : 誰もが認識しやすいよう、トイレやエレベーターの案内にピクトサインを採用。
- 屋外 : 治水対策として駐車場内に地下貯留施設を設置。
- 屋外 : 屋根付き駐輪場の設置。
- 屋外 : 障害者専用駐車場及びスロープの設置。
- 屋外 : 子どもから高齢者までくつろげる芝生広場を設置。

■会議室 1、会議室 2



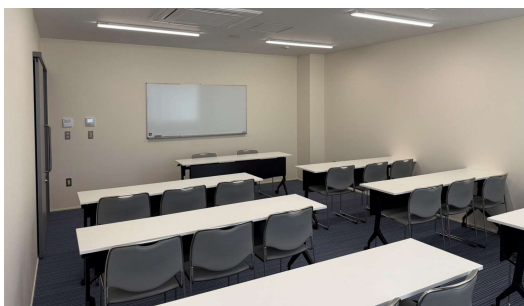
少人数から大人数まで対応できるよう、可動間仕切りにより部屋を区切れるよう設計。

■和室



乳幼児から高齢者まで、幅広い世代が遊びや趣味を楽しむことができる空間。

■会議室 3



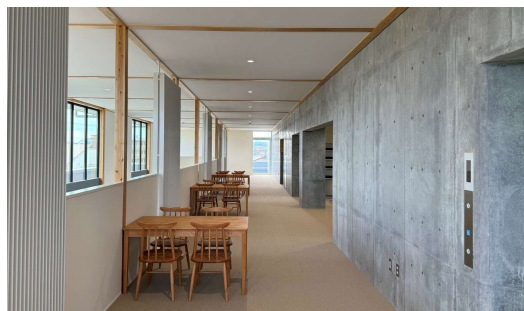
少人数で利用するのに適した会議室。学習や研修の場として最適。

■会議室 4



少人数で利用するのに適した会議室。壁の1面がガラス張りとなっていて開放的。

■2階ホール



誰もが利用できる空間。自習や趣味活などに利用可能。

■2階サロン



居心地の良いフリースペース。利用者同士の会話や、くつろぎの場として開放。

■芝生広場



芝生広場やすべり台、ブランコ、スプリング遊具を整備。

■駐車場



駐車場は81台まで駐車可能。

豊田子育て支援センター「とよのわ」

焼津市では、子どもたちが心豊かに育ち、学び、いきいきと生活できるようさまざまな取り組みを実施しています。豊田子育て支援センター「とよのわ」は、ママ・パパが安心して子育てができるよう、市内9か所目の子育て支援センターとして新設されます。

■子育て支援センターとは

子育て中の親子（主に就園前の親子）と一緒に過ごせる場所です。楽しい季節のイベントや子育て講座などへの参加、育児や食育など子育てに関することを気軽に相談できます。

■豊田子育て支援センターの紹介

【子育て支援室】

お子さんが思い切り遊べる大型遊具や木製のおままごとセットを完備しています。年齢に合わせた遊びができるよう、エリア分けされています。

【子育てコンシェルジュ】

子育て中の親子の心強い味方として、経験豊富な子育てコンシェルジュが常駐しています。子育てに関するどんな些細なことでも相談に乗り、適切なアドバイスや情報を提供します。

乳児エリア



幼児エリア



■愛称「とよのわ」命名の経緯

豊田の「とよ」と、人と人とのつながりを表す「わ（輪）」を合わせたものです。

令和8年1月に愛称を募集し、ご応募いただいた中から、子ども・子育て会議で審査のうえ「とよのわ」が選ばれました。

子育て支援センターを利用し、同世代の親子や職員と出会い、つながりや広がり生まれてほしいという思いが込められています。



旧豊田村所有の山林の利活用について

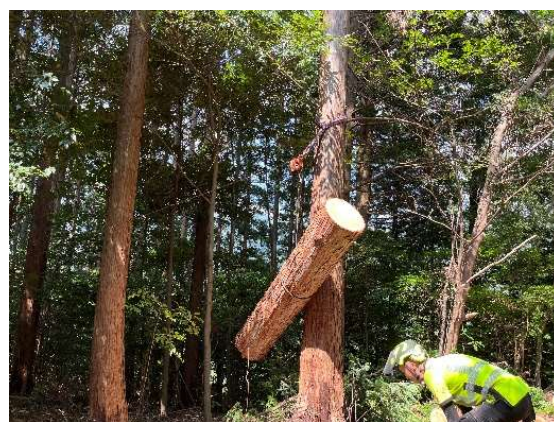
■ 山林の概要

明治から昭和にかけ、現在の焼津市と合併する前に豊田村が存在しました。豊田村は、大正2年と大正4年に将来に向けた建築資材等としての活用を目的に、藤枝市滝沢に山林を購入しました。当時は村民の茅葺き屋根を修復していくために茅を栽培し、戦前には3年ほどかけてスギやヒノキを植林し、昭和25年頃にも最後の植林が行われたようです。

その後、昭和28年に焼津市と合併したことに伴い焼津市に土地の所有権が移り、現在の山林は、滝沢地区の地元住民の方に、枝払いや下草刈りなどの管理を委託しています。

■ 木材の活用

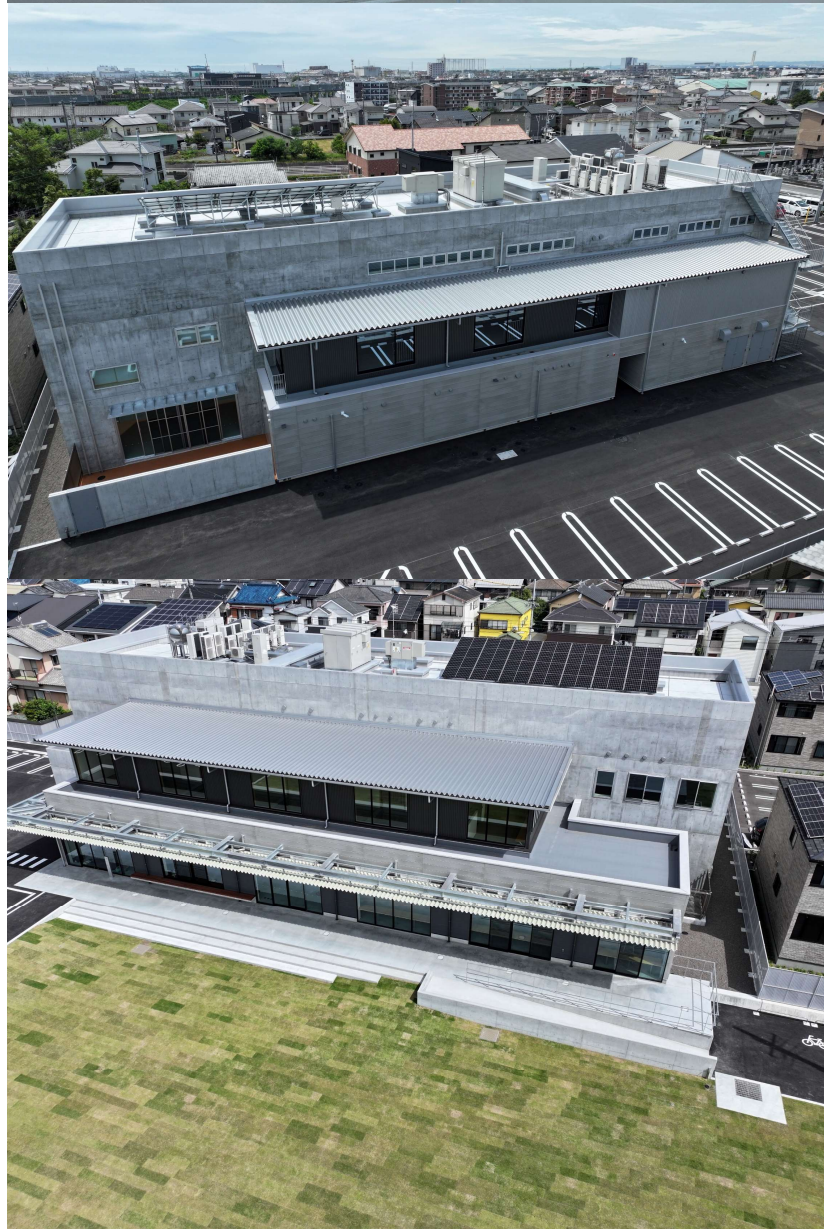
新しい豊田地域交流センターの建設に伴い、地域の皆様から「豊田の木を新豊田地域交流センターの一部に活用できないか。」という提案をいただいたことを踏まえ、山林から木を切り出し、看板やピクトサイン（部屋の案内表示）として活用しました。



切り出し風景



ピクトサイン



豊田地域交流センター
静岡県焼津市小土961番地の1
